

(1) 具体的な確認事項

① ○○市町村社協職員防災点検10項目

○○市町村社協職員として、住民の生活を災害から保護、支援するため、平時から備える項目を定め、定期的に下記の10項目の点検を行うとともに、防災体制の整備を図る。

1. 防災に関心を持ち続けているか
2. ○○市町村地域防災計画における○○市町村社協の所掌事務を理解しているか
3. 災害応急対策に必要な関係機関との連携はとれているか
4. ○○市町村社協災害対策マニュアルを携帯しているか
5. ○○市町村地域防災計画の所在確認
6. 初動マニュアルの内容確認
7. 自分の身は自分で守る
8. 社協の防災用品の点検(ラジオ、懐中電灯等)
9. 社協管理施設の消火器・AEDの場所の確認、使い方確認
10. 災害時に社協職員としての行動を家族は承知(理解)しているか

② いかに行動すべきか

1. 社協職員として 日頃から自分の行動や分担する業務について確認し、必要事項を把握する。
また、行動にあたっては、常に以下のことを念頭において行動する。
2. 災害情報や○○市町村災害対策本部の発表に注意する。
3. 家族の安全確保の後、速やかに緊急連絡を行い、参集もしくは召集まで待機する。
4. 出張時には、訪問勤務時や勤務時間外でも所属の上司へ連絡をとる。

【人として】

我々は、社協職員であるとともに地域住民でもある。災害が発生した直後においては、職員としての行動以前に、人命救助、避難誘導等の応急的な人道措置に携わらなくてはならない。また、平時から地域の防災訓練等に積極的に参加し、日頃からの防災対策に努める。

③ 行政との確認事項

1. 地域防災計画に基づく役割の確認と具体的行動の確認

[留意事項]

地域防災計画上の災害ボランティアセンターの位置づけ、役割などを確認し、具体的な行動について、事前に話し合いを実施しておく必要がある。

2. 平時及び災害時における災害ボランティアセンターの担当部署と担当者の確認

[留意事項]

担当者は、人事異動等で変更となることが予想されるので、上記で確認した災害時における具体的な役割の確認とともに、毎年度当初に確認する必要がある。
また、平時と災害時で担当となる窓口が異なる場合があるので、事前に確認しておく必要がある。

3. 市町村災害対策本部と災害ボランティアセンターとの連携方法の確認

[留意事項]

災害時には、様々な場面で災害対策本部との連携は不可欠なため、連携方法について具体的に確認しておく必要がある。